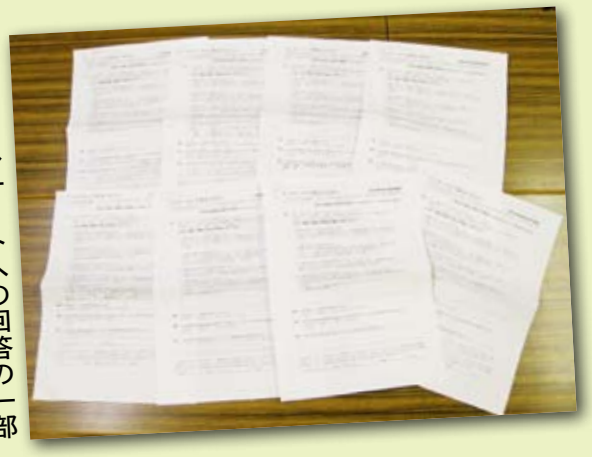
清田区の世直しおばちゃん

市政改革に新風を

吉岡ひろ子

日本共産党 清田区市政相談室長

市民アンケートへのご協力ありがとうございました



アンケートへの回答の一部

消費税論議の前に徹底したムダ遣いのチェックを（真栄・男性）

公立・私立を問わず授業料を無料にして（清田・男性）

就職できない若者がいる社会では将来への希望も生まれない（美しが丘・女性）

障がい者にも仕事がほしい（清田・男性）

医療・介護にもっと力を（北野・女性）

⚠ くらしの問題に**異議あり** ⚠

この願い実現へ 提案・行動します

くらし

- 国保料の年、一世帯一万円の引き下げを
- お年寄りイジメの医療制度は廃止

介護

- 利用者の負担が増える介護保険制度改悪は許しません
- 自己負担ではなく国の責任で改善を

子育て

- 清田区の待機児童は１３０人（昨年10月）保育所の増設を必ず
- 小学校卒業までの医療費無料化を

仕事・雇用

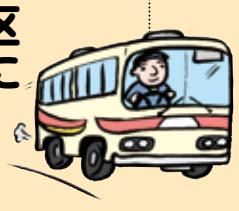
- 使いやすい住宅リフォーム制度を
- 保育所・特養・介護施設清田区に建設で１７０人の雇用確保

ムダ削減

- 議員個人の公費による海外視察の中止を
- 官製談合には徹底した究明を

交通

- バス路線の拡充・整備でお年寄りが住みよい清田区に
- 清田区まで地下鉄の延伸を
- ゆきとどいた除排雪を



清田区新聞

2011年1・2月号　号外
日本共産党札幌豊平・清田・南地区委員会
豊平区美園３条８丁目２―８
TEL 831-1909　FAX 831-3329

日本共産党札幌豊平・清田・南地区委員会は、吉岡ひろ子さんの政策を発表しましたので紹介します。

お困りごと・お悩みは――
吉岡ひろ子事務所へ
お気軽に

☎ 888-6777　FAX 888-6776
http:// www.yoshioka-hiroko.com/
http://yosiokahiroko.blogspot.com/
清田区真栄１条２丁目４-１ 協信ビル

私が歩んだ道

1951年8月15日、６回目の「終戦の日」に、木古内町の木こり一家の次女として生まれ、５人家族のなかでのびのびと育ちました。

「男だったらなあ」が父の口癖で

負けずぎらいで、７歳上の姉とけんかをして負けそうになり、姉の髪の毛にぶらさがり、降参させたりして――。「男だったらなあ」が父の口癖でした。

大人の会話に、「朝鮮人はなまけもの」と差別する言葉を聞き、いやな思いをしたのは、小学３年生のころ。通知表でいつもほめられるのは「みんなと仲良くできる」、努力が必要なのは「筋道を立てて考える」でした。

父の仕事の都合で札幌に出てきたのは小学５年のころ。最初の住まいは東区の資材置き場の中にある飯場でした。みんなの帰りが遅いとき、気をきかせたつもりで炊いたご飯がめっこめしになったけど、おじさんたちが「うまいうまい」と食べてくれたことが、とても嬉しかった。

「なぜ生きるのか？」と語り合い

北栄中学に入学し、間もなく平岸中学へ。転校するときは何人もの女子生徒から写真や手紙をもらいました。なぜか女子には人気があったのです。「なぜ生きるのか？」と友達と人生論を語りあいました。もちろん異性のことも――。ラヴェルの「ボレロ」を毎朝聞いてから通学しました。

「自分を表現したい」と人形劇クラブへ

落ちこぼれ、挫折の苦しさも経験した札幌東高時代。自分を表現したい気持ちから人形劇クラブ「ぽっくり座」に入部しました。部活では「ベトナム戦争反対」の手作りのゼッケンをつけて通学していた先輩がいて、「なぜ、あんな大胆なことができるのだろう」と驚きでした。

ひと呼んで「風の又三郎」

高校を卒業して東栄という家族的な会社に就職。給水室で同期の仲間と仕事のことで、泣いたり励まし合ったり――。旧姓羽沢から「はっちゃん」と呼ばれ、すばやく倉庫へ走る仕事ぶりから「風の又三郎」の異名も。同期の女子とはいまも年に一度温泉旅行を楽しんでいます。

「自分も何かしなければ」の思いで

就職してまもなく、社会人の人形劇サークル「ブランコ」で活動しました。農民一揆を題材にした人形劇「しばてん」の脚本を作るなかで、社会問題に目をむけるようになりました。生きるために命がけで不正とたたかった農民――演じた自分も「なにかしなければ」と、1972年に民青同盟に入り、その活動を通じて、戦争の時代に命をかけて平和のためにたたかった人たちがいる、それが日本共産党だと知り、入党しました。

子どもらに平和で豊かな日本を

1976年24歳で、人形劇の仲間だった吉岡と結婚。北野に転居して三男一女を、悪戦苦闘しながら育てました。文科系の親とは違い、子ども４人は全員が陸上部で中・長距離ランナー。駅伝を走る息子も、選挙に出る私も、共通点は「タスキがけ」です。

子育てのかたわら新日本婦人の会の活動にとりくみ、1998年から清田支部の事務局長を務めました。産直運動、平和運動、子どもの医療費無料化運動など、さまざまな要求運動にかかわってきました。「平和で豊かな日本」をつくり、その「タスキ」を次の世代に手渡す――それが私の役割だと考え、走り続けています。趣味は、絵手紙、映画鑑賞、カラオケなどです。

弱い人の立場にこそ政治の光を

こんどこそ 市議会へ必ず

市民に寄り添う 吉岡ひろ子の行動力

音響式信号機の設置に全力

全盲の青年の要求で、障がい者団体や共産党支部の人たちと、美しが丘の交差点に音響式信号機・点字ブロックの設置運動に全力。点字ブロックを実現したのにつづき、音響式信号機も３月に設置されることになりました。

危険な交差点解消の先頭に

新婦人清田支部の要求アンケートなどで要望が強かった、北野のラルズ前や市住付近の交差点に手押し信号機の設置運動をすすめ、実現しました。

真栄小・中に障がい児学級を設置

障がい児をもつ母親らの願いをうけて、地域の人たちとともに、真栄小、真栄中に障がい児学級の設置を要求。３万人の署名を集めて市議会に陳情し、実現しました。

産廃施設の建設計画撤廃を実現

有明の産業廃棄物処理場建設計画は、河川の汚染などを心配する住民や町内会、市民団体など広範な人々の反対運動となり、中止させました。吉岡さんも現地調査など、運動の先頭に立ちました。

国会で文科省に給付型奨学金の増額を求める吉岡さん（右端）。紙、大門両参院議員と。

乳幼児医療改善へ手を携えて

新日本婦人の会などが全市でとりくんだ乳幼児医療無料化の年齢引き上げ運動。吉岡さんも請願署名活動などに尽力。共産党市議団もがんばり、当時ゼロ歳だけが無料でしたが、現在は就学前まで無料です。

区民に向き合う150件の生活相談

病気や失業などによる生活困窮、多重債務、労災、パワハラやご近所とのトラブルなど、３年で150件の相談が寄せられました。相談者の悩みに心寄せ、その解決に力を尽くしました。

だから私たちは吉岡ひろ子さんに期待します

吉岡ひろ子さんは、私のふるさと清田区で、四人のお子さんを育てながら、若い女性やお母さんたちの頼りになる相談相手として、女性運動ひとすじに頑張ってきた方です。その抜群の行動力が頼もしい吉岡さんを、市民の生活を守る市政改革の新風として市政の場へ、こんどこそ送り出してください。私も力のかぎり応援します。

紙 智子（参議院議員）

こどもの健康を守るため、今後の活躍に期待しています。

岡 洋瑚さん
小児科医（真栄）

認可・無認可に関係なく、子どもにあった保育園に入れられる時代を。

大西孝枝さん
主婦（真栄）

人が人を殺す戦争はいやだ!!憲法９条を生かし、世界平和を手の中に。

中田章二さん
点字ボランティア（里塚）

★国にハッキリものが言える党がのびてこそ★

北海道経済に大打撃のＴＰＰ反対

民主・自民・みんなが推進するＴＰＰへの参加は、食料基地・北海道に壊滅的な打撃を与えます。

みなさんと力を合わせ、オール北海道で反対しましょう。

日本共産党はＴＰＰの協議にも反対し、食料自給率の向上のために全力で取り組みます。

尖閣諸島、千島列島は日本の領土

日本共産党は、尖閣列島が日本の領土であることを、40年前から主張してきました。

千島列島全体も、日本の領土です。

政府は、中国にも、ロシアにも、ハッキリと主張する強力な外交力を発揮すべきです。

北朝鮮の無法な砲撃に断固反対です

日本共産党は、北朝鮮の無法な砲撃に断固反対し、抗議しました。そして、菅首相に対し、北朝鮮の脅威をあおるのではなく、６カ国協議主席代表による緊急会合を実現し、外向的・平和的な解決を提言しました。

北朝鮮の核開発問題でも、日本共産党は、６カ国協議での外交努力を続けるよう主張しています。